

道

2021・1・20

通信 No 1618



キク

～鈴木京子さんからバトンを受けました山口友久です～

合唱団にお世話になり10年程、大先輩が多い中、未だ中堅にも至らずです。

さて、歌うことについて昔を振り返ると、自分が歌を歌うことが好きと自覚したのは小学校低学年の教室の中、文部省唱歌、童謡でしょうか?皆で歌っている情景を思い出します。

ある時、クラスで歌の代表を選ぶ際、自分が選ばれなかったのを不満に思ったことがありました(人前で歌ったこともないので選ばれないのは当たり前でしたが)元々音楽に縁のない家庭でしたが、母が明るい人で家の中で鼻歌を歌っていましたね。

高校の時に音楽の名の通った教師に担当され、数曲から1曲を選び独唱する機会があり、ドイツ語のイッヒ、リーベ、ディッヒ(愛している)を歌いました、思いがけず「褒められました」。これが初めて歌を(声を)褒められた記念日です。

就職してから、飲み会の度に良く歌いました。古い歌から最近の歌まで、酒を飲んで歌うのは邪道ですが、臆病で恥ずかしがりの私は飲まないと言えませんが、飲んで歌う生活が続きました。昭和の古い歌謡曲が好きです。

中年過ぎたころ、堅物の父が結婚式で歌を披露したのには驚きました、遺品の中には手書きの歌謡曲の歌詞を写したノートがあり、平凡の歌集もあり、血は争えないなと思いました。

60歳近くなり、縁あって合唱団「道」に加わり、合唱というものを経験しました。音符を読めず、音符を見てもその音程が出せず、出来ないから勉強するわけではなくやってきました。途中で休団したり不真面目な団員です。「飲まないと言えない」などと言っていましたが、そうもいかなくなりました。これからも宜しくお願い致します。

～入団が同じ頃のソプラノの伊藤文子さんへバトンをお渡しします～

《ありがとうございました》 朝倉きみ子

多くの団員の方にアンケートを回答頂き感謝いたします。休団中の方や12月の最後の練習に欠席された方にもお電話をしてお話を伺いました。皆さんお元気な様子でした。早くコロナが収束してくれないかという思いが大きいですね。外出自粛要請され、たつぷりと時間があり、この時間を楽しんでいる方も多いです。アンケートをまとめて報告文として1月末には団員の皆さんのお手元に届ける予定です。

	ソプラノ	アルト	テノール	バス	全体
団員数	14	15	8	15	52
(仕事有)	5	5	3	2	15
最年長	83	83	81	94	94
最年少	65	56	62	67	56
平均年齢	76	74	74	76	75



《お知らせ》

緊急事態宣言が出ている2月7日まで、県民サポートセンターの会議室が使えなくなりましたので場所・日程を変更して以下の通り運営委員会を実施します。

1月24日(日) 午後1時～3時半 於 横浜市社会教育コーナー(磯子区)